

発行日：2011年7月20日  
 龍谷大学ボランティア・NPO活動センター

2011年3月11日に発生した東日本大震災から早くも4ヶ月が経ちました。被災された皆さまには、深くお見舞い申し上げます。被災地の復興はこれからまだ長い月日が必要なため、ボランティア・NPO活動センターは、学内外において長期的に様々な支援をおこなってまいります。

また、ボランティア・NPO活動センターでは、復興支援のボランティアだけではなく、日常的なボランティアのきっかけづくりにも取り組んでいます。

## ■■■■東日本大震災 復興支援プロジェクト 報告■■■■

報告会&ミーティングの実施 <深草 5月19日/瀬田 5月26日>

深草キャンパス報告会



「私達が被災者・被災地に向けて何が出来るのか?」「息の長い支援とは何か」ということを、実際に被災地でボランティアを行った教員から被災地の活動報告を聴き、一緒に話し合ってみる機会としました。

深草キャンパスでは経済学部 伊達浩憲教授と短期大学部 黒川雅代子准教授にお話しいただき、32名の参加がありました。

瀬田キャンパスでは社会学部 山田容准教授を迎え、約20名が参加しました。いずれも終了後に熱心な質疑応答があり、「被災地を支援したい!」という想いが伝わってくる報告会になりました。



瀬田キャンパス報告会

福島県の物産品販売会 <深草 6月1日~3日/瀬田 6月6日~8日>

ボランティア・NPO活動センターでは関西でもできる復興支援の具体的な取り組みとして、NPO法人JIPPOと協力し、福島県の物産品販売を実施しました。

深草・瀬田の両キャンパスとも売り切れる商品が出るなど連日盛況で、本学学生、教職員や地域の方々など多くの方にご購入いただきました。販売の利益は、NPO法人JIPPOを通じて義捐金として被災地へ送られます。

販売した物産品は喜多方ラーメンや地鶏カレー、お菓子などで、販売ボランティアに参加した学生からは、「こんなに多くの方が被災地に関心を持っているのかと驚いた」「被災地のために関西でもできることに参加できてよかった」といった声がありました。購入いただいた方からは、「初日に買ったが、美味しかったのでまた買いに来た」「もう販売の予定はないのか」などの嬉しい声をいただきました。

深草での販売の様子は6月1日の京都新聞と6月2日の朝日新聞に掲載され、瀬田の様子は6月6日にびわこ放送で放映されたり6月7日の中日新聞にも掲載されたりしました。



深草キャンパスの販売会の様子



瀬田キャンパスの販売会の様子

## 復興支援ボランティア <第1回 6月24日～27日/第2回 7月2日～5日>

東北教区ボランティアセンター、石巻市災害ボランティアセンターの協力のもと、龍谷大学が主催して6月24日～27日と7月2日～5日の両期間に宮城県へのボランティアバスを運行しました。現地では本願寺仙台別院を拠点に、石巻市と七ヶ浜町にて活動を行いました。

いずれも3泊4日(車中1泊含む)の日程のうちボランティア活動は実質2日間で、移動に片道12時間かかるハードなスケジュールの中、「被災地のために自分のことをしたい」という学生や教職員たちが活動に取り組みました。

### ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆第1回 6月24日～6月27日◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

教職員を含む21名が参加し、石巻市において活動しました。1日目は被災された家の中の整理や泥出しなどをおこない、1,200袋もの土嚢が積み上げられました。2日目は雨の中、側溝の掃除をおこないました。側溝の蓋はコンクリート製でかなり重かったで



すが、全員怪我なく無事に終える事ができました。最後に地域の方の話も聞く事ができるなど、有意義な時間を過ごしました。

### ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆第2回 7月2日～7月5日◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆



教職員を含む26名が参加し、1日目は石巻市旭町での側溝掃除をおこないました。かなりの重労働でしたが、怪我なく無事に終える事ができました。2日目は沿岸から広範囲にわたって津波の被害を受けた七ヶ浜町での活動です。震災から3ヶ月以上たった今でも、3月11日から時が止まったか



のような光景が続く中、あるお宅があった場所で、流れ着いたゴミの撤去と、その中に埋まっている物の整理などをおこないました。

活動後の振り返りでは、「メディアを通して聞くのとは違い、リアリティがあった」「小さなことかもしれないが、少しでも復興につながってよかった」などの感想があり、「継続的な活動が必要」という意味を、体で感じたボランティアとなりました。

### ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆第1回・第2回 活動報告会◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

被災地でどのような活動を行い、どのような出会いがあったのか、そして、何を感じて帰ってきたのかを写真などを交えながら皆さんと共有するための報告会を、7月15日(金)に深草キャンパスで実施しました。



■■■■次号でも復興支援プロジェクトの掲載を予定しています■■■■

## 2011年度 ボランティア入門講座 全3回を終了

ボランティア・NPO 活動センターでは、本学学生のボランティア活動のきっかけづくりを目的として、毎年前期に実施しています。3回連続の講座で、第1回はボランティアの考え方などについて学び、第2回は実際にボランティア活動を体験し、第3回にはボランティア活動を体験して感じたことなどを参加者同士で共有します。今年度は、約70名の参加者が第2回目のボランティア体験で以下の5つの活動先に分かれ、それぞれの団体で体験させていただきました。

また、全3回受講した学生には修了証書が授与されました。参加した学生からは、「ボランティア活動をしたいと思っていても一歩がなかなか踏み出せませんでした。この講座を知り、参加してとても良かったです」「ボランティア活動を体験するだけでなく、『ボランティアとは何か』という基本的なところから学べたのがよかったです」といった感想がありました。



子ども向けイベントのお手伝い



竹林整備とピオトープ作り



バザーのお手伝い



高齢者のお話し相手



商店街イベントのお手伝い

## 出張ボランティア相談会を実施

大宮キャンパスにはセンターのようなボランティアを紹介する機関がないため、深草キャンパスのセンター学生スタッフが6月20日～22日に『OSV!大宮出張ボラセン』を実施しました。各日とも昼休みから15:00までオープンし、合計9名の学生が相談に訪れました。



OSVの様子



Let's ボランティアの様子

また、瀬田キャンパス内でも、センターの外でボランティアを紹介する『Let's ボランティア』を、6月20日～24日と7月4日・5日の昼休みに野外ステージ前で学生スタッフが実施しました。約20名の学生がブースを訪れ、夏休み向けのボランティア情報やセンター主催のボランティア募集などを中心に紹介しました。

## AIDS文化フォーラム in 京都 プレ講演会を開催

HIV・エイズに関わるNGO、NPOと市民ボランティアによって実施される「AIDS文化フォーラム in 京都」が、今年10月に本学大宮キャンパスで開催されることになり、センターが後援・協力をを行います。

そのプレ講演会を7月13日(水)に深草キャンパスで実施し、京都赤十字病院の大野聖子氏を講師にお迎えしました。エイズに関する基礎知識やフォーラムに対する想いをお話いただいた後、フォーラム当日のボランティア募集などがあり、参加した約20名の学生・教職員は、熱心に耳を傾けていました。

本フォーラムに関心がある学内の方は、ボランティア・NPO活動センターまでお問い合わせください。



エイズについての現状や基礎知識をお話いただいた大野先生



赤十字コースの佐藤さんは、若者から若者への啓発の重要性をお話されました。

## 大津祭の紹介とボランティア募集

昨年度の大津祭の様子



瀬田キャンパスのセンターでは、毎年10月に行われる大津祭にボランティアとして参加する学生を募集しています。今年度はその様子を知ってもらうため、前頁の『Let's ボランティア』で大津祭のブースを出し、写真展示や運営団体の方にお囃子に使用する太鼓や笛の実演などをさせていただきました。

大津祭ボランティアはまだ一部を募集していますので、関心のある学生にぜひご案内ください。



学内ブースでの  
お囃子体験コーナー

**活動日時：**2011年10月9日(日)8:00~18:00  
**活動場所：**大津市中心市街地

## 今後の取り組み

### ナカマチ土曜夜市 in 丸屋町へのボランティア協力

瀬田キャンパスのセンターでは、毎年7月の第4土曜におこなわれるナカマチ商店街夜市(大津市中央地区)のうち、丸屋町商店街に対してボランティア協力を行っています。

今年度は以下の日程で、学生スタッフを含む総勢約50名の龍大生が各種出店の運営などを行います。また、瀬田のよさこいサークル『華舞龍』も、パフォーマンスを披露して夜市を盛り上げますので、学生の頑張りを見にぜひ夜市へお越しください。

**実施日時：**2011年7月23日(土)18:00~21:00  
**実施場所：**丸屋町商店街(JR大津駅から徒歩10分)



昨年度の夜市の様子

### 東日本大震災 復興支援ボランティア第3回

第1回・2回に続いて、夏季期間中となる第3回には28名の学生・教職員がボランティアバスにて宮城県へ向かいます。厳しい暑さが続きますが、熱中症などに気をつけて活動したいと思います。

**実施期間：**2011年8月4日(木)~10日(水)

### 2011年度夏季海外体験学習プログラム

センターが選定した学外のNPO・NGOが実施するプログラムとして以下の3コースを実施し、15名の学生が参加する予定です。

	テーマ	訪問国	期間	実施団体
1	私からはじめ る緑の再生	中華人民共和国	2011年8月20日(土)~ 8月26日(金) 7日間	認定NPO法人 緑の地球ネットワーク
2	体感! 多文化 共生の生活	タイ王国	2011年8月22日(月)~ 8月30日(火) 8日間	特定非営利活動法人 JIPPO
3	自分と、未来 を変える旅	ベトナム社会主義共 和国、カンボジア王国	2011年8月31日(水)~ 9月11日(日) 12日間	財団法人 日本アジア交流財団

帰国後は、各プログラムに参加した学生が学んだことや感じたことを発表する機会として、10月に報告会を行います。HPやチラシなどで案内しますので、ぜひ関心のある学生にご案内ください。

発行責任者 龍谷大学ボランティア・NPO活動センター センター長 松島 泰勝  
URL: <http://www.ryukoku.ac.jp/npo/> 深草(内線1490)瀬田(内線7252)  
MAIL: [ryuvnc@ad.ryukoku.ac.jp](mailto:ryuvnc@ad.ryukoku.ac.jp)